



## 社会や家庭を広範囲に備える非営利サービス機関

福岡県 庄内福祉会 勝野 紀美代

カナダは、連邦政府がどこに住んでいても一定の福祉サービスが受けられるサービスの最低基準を設けており、その運営は州政府が行っている。

保健福祉サービス法は、3回の大改正があったが一貫していることは以下の3つである。

- ①医療・保健・福祉のサービスは縦割りではない。
- ②小地域に設置した地域保健福祉センター (CLSC) という公的機関が、第一線の医療・保健・福祉のサービスを総合的に担っている。
- ③病院やCLSCの運営に利用者や住民が参加する。

行政運営では州を18の保健福祉地域に区分し、各地域に保健福祉協議会という行政機関を設置している。保健福祉協議会は、州の保健福祉省から配分された予算を病院、福祉施設、CLSCなどへと配分し、住民参加の下で医療保健福祉計画を策定する。そこには人材配置計画、病床数の削減計画なども含まれ、その実施後の評価も行う。

SPRINTは、1983年に設立された実際の社会や家庭に至るまで広範囲に渡り備えられた非営利社会組織であり、オンタリオ州に約360あるシニアに対する非営利サービス機関のひとつ。担当範囲はトロント市北部で、1人暮らしの高齢者や体の不自由な方を対象とした援助活動を行っている。活動はプロのスタッフやできる限り長期に活動できる献身的なボランティアによって供給されている。

我々の班は、軽度の認知症のグループホームを見学した。

1階から3階は一般の入居者が生活しており、4階5階に5人の2グループずつが入居し生活しているという形態。医学的に見て安定的状況の人が入居し



軽度認知症グループホームがある建物

ている。入居期間は平均3～4年、年齢層は61～94歳である。個人の費用は、月に13万円程度。

今回の視察で、日本の福祉制度とカナダのそれとの違いもあるが、携わっている人びとが明るく軽やかに仕事をしているように感じた。施設が無臭で、清潔、色彩豊か、観葉植物や花が多く、入所者もオシャレで明るい。

CLSCで、「ここにいる人たちが外に出ていけないので外(街)をここに持ってきた」という逆転の発想を目の当たりにし、哲学を持って、運営、教育、仕事をしていると感じた。

福祉の業界に入社して5か月目での参加だったが、良いところは取り入れて、うちの若い職員たちにも明るく軽やかに仕事をしてもらいたいと思った。